

2005 夏号

SABO だよ！ SABO だよ！

土砂災害防止教室 開催！

in

高原町立高原小学校

6月15日(水)高原町立高原小学校5年生のみんなと「土砂災害防止月間(6月)」にあわせて土砂災害の勉強会を行いました。

授業形式での勉強会



みんな真剣にとりくんでいました。

ぱねるコーナー



いろいろな体験コーナー

土石流発生体験模型



みんな楽しそうに体験していました。



土のう制作体験



あめふり体験



シリーズ 砂防の現場から

環境に配慮したケーブルクレーン工法を用いて資材及び重機を搬入し施工を実施。

矢岳第7溪岸工事

溪岸の崩壊防止(ほうかいぼうし) 土砂の生産・流出を防ぎます。



ケーブルクレーン

資材置場

伐採林を少なくする

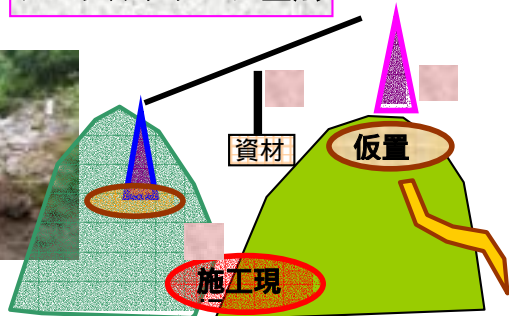


資材運搬



資材搬入

ケーブルクレーン工法



資材

仮置

施工現

霧島火山さぼう探検隊!

6月5日(日)、霧島火山地帯の見学会を行うとともに、火山の恩恵から土砂災害まで様々な視点で火山を学び、私たちの暮らしと砂防の関わりについて理解していただくための「霧島火山砂防開放講座 霧島火山さぼう探検隊!」が開催されました。

ミヤマキリシマ



ミヤマキリシマ群生地



石井久夫先生(えびの高原ボランティアレンジャーの会長)

鳥のさえずりを聞きながら、ミヤマキリシマをはじめ様々な植物や植物遷移、鳥類などの説明をしていただきました。

現在の霧島の豊かな自然は、噴火による破壊と再生の繰り返しによってつくられてきたものだということがよく分かりました。



矢岳床固群



当日は、時折日差しが差し込む曇り空の下、一般参加者19名・講師2名・スタッフ9名の総勢30名の「霧島さぼう探検隊」が結成され「ミヤマキリシマ」「霧島火山」「砂防の役割」について学びました。

砂防の役割について説明する宮崎河川国道事務所工務第二課 前田課長

霧島火山



露出した断層を見つけ説明する井村隆介先生(鹿児島大学理学部助教授)

何枚かの層が幾重にも重なって見られますが、火山灰層や軽石層で出来た地層を調べることによって、霧島火山の噴火の規模や歴史を知ることが出来るそうです。



炭化木

新燃岳の噴火(1716~17年:江戸時代)の時の火砕流に飲み込まれ立ち木のまま炭化したもみの木



新燃岳の東ではこのような炭化木がいくつも見られ、噴火活動の大きさを物語る貴重な遺産となっています。

砂防の役割



参加者からは、「ミヤマキリシマの群生地・炭化木を初めて見て感動しました。」「講師の説明もわかりやすくよく理解できました。」「自然のすばらしさにふれた反面、火山の噴火・土石流の怖さも知りました。」「砂防事業の大切さを知りました。」などの感想が寄せられました。

好評につき、今秋「第2回 霧島火山さぼう探検隊 ~紅葉~」開催予定

NEW SABOだより 2005年 夏号

発刊:国土交通省 宮崎河川国道事務所 工務第二課

0985-24-8221

大淀川砂防出張所

0984-42-1364

このチラシに載っている内容を詳しく知りたい方は、当事務所のホームページにも掲載されています。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/sabou/index.html>